

令和3年9月30日

報道機関各位

商工労働部新産業創造課

りんごを使った健康志向食品に係る商品開発会議の開催について

県では、国内外でブランドが確立されている「青森りんご」に着目し、県内企業による「りんごを使った健康志向食品」の開発を促進するため、開発モデルとなる商品を公募し、専門家による伴走型での開発支援に取り組んでいます。

今回、下記のとおり商品開発会議を公開しますので、取材方よろしくお願ひします。

なお、開発モデルとなる商品は、県内企業に広く参考にしていただくため、2月に商品発表会を開催する予定です。

記

1 日時・場所

- (1) 日時 令和3年10月11日(月) 14:30~16:00
- (2) 場所 有限会社松栄堂 栄町本店 (青森市栄町1-5-4)

2 有限会社松栄堂の取材対応者

代表取締役 畑中和紀(はたなか かずのり)様 (電話 017-743-1863)

3 商品開発会議の概要

(1) 専門家によるアドバイス

専門家が以下の内容について具体的なアドバイスを行います。

- ・機能性成分の配合量や分析方法
- ・食品表示法や健康増進法等に基づく商品企画及びパッケージへの表示方法
(「食物繊維たっぷり」、「減塩」、「低糖質」など)
- ・保健機能食品制度(トクホ、機能性表示食品、栄養機能食品)に基づく商品企画

(2) 開発モデルとなる商品の概要

りんごを使ったスイーツについて、食物繊維を高配合*し、健康志向のスイーツとして開発中。

※食物繊維「たっぷり」「豊富」「高い」「多い」といった「高い旨の表示」は、食品表示法に基づき定められている食品表示基準別表第12に基づき、食物繊維が100g当たり6g以上又は100kcal当たり3g以上の基準値を満たす必要があります。また、配合する食物繊維の種類により分析方法が異なることなど、健康志向食品の開発ノウハウや留意するポイント等を専門家がアドバイス支援し、開発を進めています。

(3) 専門家の紹介

ケイ・シグナル 代表
青森県よろず支援拠点 チーフコーディネーター
加藤 哲也氏

1967年・石川県金沢市生まれ。東北大学大学院農学研究科を卒業後、味の素(株)入社。「ほんだし」、「オイスターソース」等のだし関連商品や、その原料の開発に携わる。平成13年、アメリカ味の素(株)にR&Dマネージャーとして出向。平成18年、味の素(株)を退社後、ケイ・シグナルを立ち上げる。青森県内外で食と農のテーマを中心とした中小事業者支援に従事し、同年(公財)21あおり産業総合支援センター コーディネーターに就任。平成26年からは、青森県よろず支援拠点 チーフコーディネーターのほか、青森銀行 企業支援アドバイザー、(公財)21あおり産業総合支援センターなど、多方面で活躍。

(株)薬事法マーケティング事務所
代表取締役 **渡邊 憲和氏**

2006年に東京薬科大学薬学部を卒業後、CRO企業で、医薬品・医療機器の開発、サプリメントの開発・企画販売を行う。次に製薬大手企業であるグラクソ・スミスクライン(株)で市販後調査の業務に従事。2013年7月に(株)薬事法マーケティング事務所を立ち上げ、代表取締役に就任した。2015年4月にスタートした機能性表示食品におけるアドバイザーとして、多くの大企業および中小・ベンチャー企業、地方自治体などへのコンサルティングを行っている。また、薬事関連法規や広告表現などに関するセミナー・講演も多数実施しており、社員向けの教育研修などに活用されている。

4 モデル商品の開発の流れ

- 6月 7日 (月) 開発モデルとなる商品の募集開始
- 7月 9日 (金) 商品開発会議① (商品企画、スケジュール確認等)
- 9月 2日 (木) 商品開発会議② (商品試作)
- 10月11日 (月) 商品開発会議③ (商品試作、パッケージ、企業訪問等)
- 12月 1日 (水) 商品開発会議④ (商品完成前の確認)
- 2月 3日 (木) 商品発表会 (マスコミオープン)

5 参考

- ・ 開発モデルとなる商品の募集概要

https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/shoko/sozoka/R3_kinousebosyu.html

報道機関用提供資料 (連絡先)	
担当課	商工労働部 新産業創造課 ライフイノベーション推進グループ
担当者	総括主幹 三上 達規 主幹 吉田 綾子
電話番号	直通 017-734-9420
	内線 3711
報道監	商工労働部 次長 菅 孝